

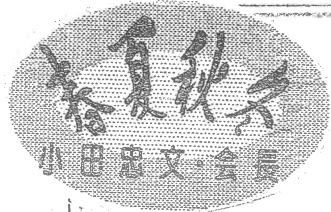
吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28,106 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Eesskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



目次

コラム	会長・小田忠文	……	2頁
いい汗流した	垂水コースの散策	伊達 晴志	…… 3頁
すいたの大木・古木本調査に向けて	生きもの委員会	……	4～5頁
生活環境委員会ニュース	生活環境委員会	……	6頁
エコクッキング報告	学習研修委員会	……	7頁
お知らせ	学習研修委員会	……	8頁
楽しい秋を見つけよう	彦坂 利久	……	9頁
お知らせ	まちなみ委員会	……	10頁



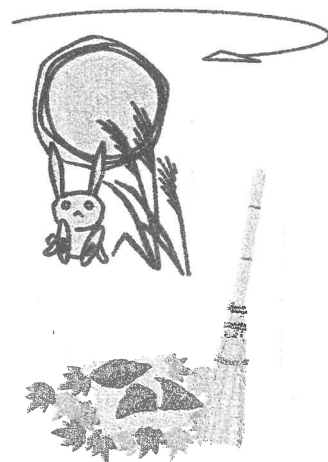
過日、吹田市立博物館講座で、彩都IMI大学院スクール総合監督の畑祥雄氏は次のように述べた。

「里山はヒトの感性・五感の学校である。花の色で視覚が生まれ、虫の声や鳥のさえずりで聴覚が、花の匂いで嗅覚が、里山の食べ物や蜂蜜では味覚が、草や風で触覚が育まれる。里山が人間の五感を作ってきたのだ。」▲昨今、私たちは里山どころか自然とほとんど接触することなく生活できている。食べるものは店にあり、家も職場も空調が行き届き、風呂もスイッチ一つで適温になる。30~40年前までは生活つまり衣食住の中に何らかの自然とのかかわりがあった。そして子どもは子どもなりに玄関前の掃除や風呂の焚きつけなどの役割の中に自然があった。家からほんの少し歩けば畑や田んぼがあった。▲先日、関西大学の先生と懇談する機会があった。数回の課外活動で学生を摂津峡に連れて行った話だった。彼らは摂津峡の目的地に向かう途中の樹木や草花、沢山の生

き物にはまったく気づかずに目的地に向かっていく。彼らには「こんな所に来たのだからゆっくりと生き物を観察しよう」という考えはない。「こんなものがあるよ」と促しても学生の多くは蝶の幼虫や他の昆虫を見ても「虫」としか言わず、中には「虫いー、最悪うー」と言う女学生もいた。▲現在はカタツムリやアメンボは都市生活では見る事が出来ない。カエルすら見られない。それらを捕まえて遊んだ経験をもつ学生はほとんどいない。また真の闇を知る学生は皆無に近い。生活と自然とが完全に分断されて育ってきた結果であろう。自然との距離があまりにも遠くなってしまった結果だ。▲しかし市内にはまだ残された身近な自然が残っている。その自然と子どもたちがいかに接していくことができるのか。来年は平成生まれの大学生ができ、団塊の世代が定年を迎える。団塊の世代こそ、これら学生・生徒に自然との付き合い方を伝え、彼らの感性や五感を育てることができる貴重な世代であり、そうすることが団塊の世代の使命だと思う。

吹田操車場跡地をどのようにすることを望みますか？

今年2月に吹田市は「吹田貨物ターミナル駅（仮称）建設事業の着手合意協定書」を締結しました。そしてその北側に広がる14.2haの土地について、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」というまちづくりの方向性を表明しています。しかし「これはあくまでもたたき台である」と担当者は語っています。すいた市民環境会議として、この吹操跡地がどのようなものになればいいかを、会員の皆さまの意見を集約して吹田市に提案する予定にしています。会員の皆さまからのご意見、ご提案を募っています。事務局までメールか封書でお寄せ下さい。



<表紙は語る>

江坂公園の秋は風と光と緑と陰が、点在するオブジェ達に語りかけ囁きかけて、まるで演奏会のような感じでした。マルタ・パンさんごめんなさい！あの素晴らしいラインは、私の手に負えませんでした。Y

「あろック吹田」散策会に参加して

いり汗流した 垂水コースの散策

H18年9月9日 吹田市泉町 伊達晴志

暑い暑い今年の夏、9月初旬とはいえ、こんな暑い日に町の中散策なんて---と思いながらも歴史とハイキングの好きな私は、9時30分集合の江坂に向かいました。集合場所に行くまでに汗だく、参加者は20名でした。私の住んでいる町は吹田でも糸田川より東の泉町です。今回糸田川の西地区の垂水の里という事で楽しみにして行きました。

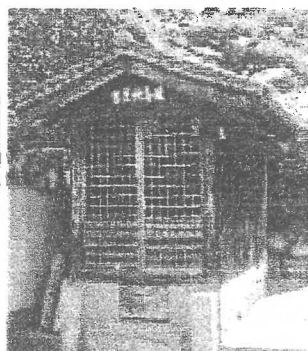
まず万博の時に出来た江坂駅から出発、大同生命ビルでコースの説明を受け、このビル内の樹木の多さと、ケヤキの葉の大きい事など聞けば、なるほどと納得---



大同生命ビル内の樹木

残暑照りつける街路、まず江坂公園を抜け豊津中学横へ、この辺りの垂水南遺跡、昔に想いをはせ、そこに植えられているヤマモモの木が10年前に植えられたとか、10年で幹が5cmほど太くなっているとの事、生命の永きを感じます。

楠明神から延命地藏へと、いつも横を通っているお地藏さんですが、説明を聞くと、糸田川改修時に川底から出てきたお地藏さんとか、ありがたや ありがたや!! どうぞ私も延命を、とお祈りを---



延命地藏尊

少し歩いて明誓寺のイチョウの大木、幹の周りはやはりでかい!! 次の上の川跡から雉子毬の石碑へと。「父は長柄の人柱」は誰でも知っている話ですが、「ものいわじ 父は長柄の橋柱 雉子も鳴かずば 射られざらまし」の歌で「ものいわじ」が掛詞であるとは知りませんでした。父は岩氏であるらしい。昔の人は賢いね!!

今日もなんと蒸し暑い日か。全員汗だくでてく、垂水神社へ到着。いろいろ説明がありましたが、全員に頂いた「水ようかん」の美味しかった事。説明よりこれが何より。これは失礼しました!!



あと憶念寺の花塚、つり鐘いろいろ伝説もおもしろい。ぼつぼつコースも終りに近づき、德基尋常小学校跡(現 豊津第一小学校)など。豊津第一小学校の歴史に悲しい出来事があった事などを聞き、歴史の深さを感じたと思います。

まもなく出発時の江坂公園に戻りコース散策は終わりましたが筆に出来なかった多くの事を学びました。

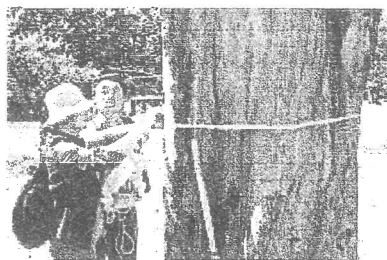
暑い暑い散策でしたがデレ寝して、怠けているより汗を流して勉強させて頂いた事に感謝して、江坂公園から私の住む泉町へと帰って来ました。万歩計は12,000歩を示していました。帰宅してシャワーの気持ちの良い事。

初めての散策会への参加でしたが、こんなすばらしい機会を又お願いします。ありがとうございました。

すいたの大木・本調査に向けて

生きもの委員会 平 軍二

前号で案内の通り、すいたの大木調査は07年に本調査を実施するが、9～10月に予備調査を3回行いました。



この結果は10/20大木調査プロジェクト会議でまとめる予定であり、結論は出ていないが、いくつか分かったことを中間報告します。

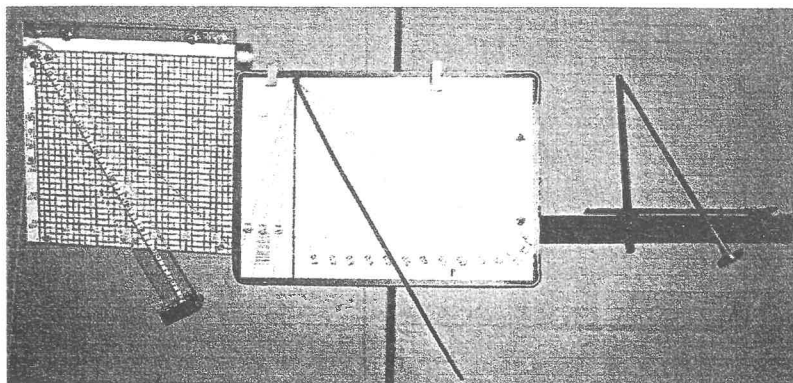
1. 樹高計について

大木調査に樹高計は七つ道具の一つ、調査時には調査班の数だけ必要になるため、97年調査時に使用したと同一タイプのメーカー品の購入を予定していました。しかし予算面もあり、加藤俊二さんから樹高計を作製するとの提案をうけ、現在試作品で調査しています。

加藤さんの樹高計（以下加藤式）は予備調査での使用結果をもとに改良を重ねたもので、シンプルで使いやすくなっています。

更に今回（第3回）、塩田敏治さんより試作樹高計を提供されたが、水平距離との関係から樹高が直ぐわかる座標や水準器がついており、メーカー品を凌ぐ高級機となっています。

加藤式・塩田式・メーカー品の樹高計3方式は、写真の通り見た形は幾分違っているものの、大木の20～30m離れた所から木の天辺（てっぺん）を見て、その角度から樹高を算出する、三角関数を利用した計測器です。この樹高計を使いこなすことが、大木調査の醍醐味の一つになると思っています。



また、幹周を測る時の基準高さ130cmが簡単にわかる竹製モノサシは、安達直樹さんに作ってもらいました。

2. 予備調査結果

予備調査日は3回ともお天気が良く、「すいたの大木」を中心にして、和気あいあいの空気が流れました。

- ・第1回 9/10(日)紫金山公園 (10名)
- ・第2回 9/17(日)垂水神社 (10名)
- ・第3回 10/15(日)千里南公園(15名)

予備調査で新しく出てきた問題点もあるが、当初から予想していた問題点が現場で再確認され、本調査に向けどうすべきかの方向が固まりつつあります。

①97年報告にリストアップされた木が見つからない 切られて無くなっている木、大木が樹林のように集まっていてNoまで指定できない木があり、前回報告の木を見つけることに苦慮しそうである。

②樹高の精度は上がらない 先に紹介した樹高計3方式は大きな誤差もなく、問題なく使えることを確認した。しかし、木の天辺が見えない、距離を長く取れない、木が傾斜地にあるなどで、樹高精度をあまり要求できないことがわかった。

③多数本立ちの断面積法への換算式

今回の調査集約では、多数本立ちを断面積法で評価することになっているが、小田忠文会長より調査現場で簡単に計算できる式が紹介された。15日の予備調査での

試算結果は、わかりやすく良好であった。

1本毎の幹周を a, b, c, \dots とすると、断面積法による仮想大木の幹周の計算式は、

$$= \sqrt{(a^2 + b^2 + c^2 + \dots)}$$

となる。

←樹高計3方式

(左より塩田式・加藤式・メーカー)

④幹周2mの大木が多くなりそう 千里南公園の予備調査のための下見を、10/13に実施したが、新しく大木にランクインする木が10本以上あることがわかった。吹田市の主な公園はできてから40年前後と思われるが、当時植えられた木の樹齢が10～20年程度として、現時点の樹齢は50～60年になっていると推定される。それらの木の中で成長の早い木、例えばユーカリ・メタセコイア・ラクウショウ・ポプラ・ヒマ

ラヤスギの外来種やクスノキなどは、生育条件が良ければ樹齢50年程度で幹周2mに成長するようである。公園・学校・街路樹などにある樹木が2mラインに近づいていて、来年度の調査では新規ランクインの大木が多く出そうな状況が見られる。

ということで、来年度は何処にどんな大木があるかを楽しみに本調査に入りたいと思っていますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

大木予備調査&植物観察会予定

* 大木予備調査 (第4回・第5回)

3回の予備調査を終え、ほぼ問題点は解決しました。この予備調査の過程で吹田市内各所に新規大木が予想以上にあることがわかりました。次回は2m以上の木が多く見つかりそうな万博公園や、千里緑地などで、大木がどれほどあるかのチェックをしたいと思っています。

予備調査という名目ですが、植物観察会を兼ねて実施しますので、お気軽にご参加ください。

(第4回) 万博公園

- ・日時：06年11月30日(木)9:30～14:00
- ・集合：自然文化園中央口午前9時30分
モノレール万博記念公園駅から徒歩5分
- ・服装：ハイキングと同じ
- ・持ち物：筆記用具、弁当・水筒、あれば巻尺
- ・参加費：無料

(第5回) 千里緑地 (高野台)

- ・日時：06年12月21日(木)9:00～12:00
- ・集合：佐竹台6丁目バス停午前9時
(遊歩道：海老池側入口)
(桃山台・南千里から10分毎にバスがあり、乗車時間6分)
- ・服装：ハイキングと同じ
- ・持ち物：筆記用具、弁当自由、あれば巻尺
- ・参加費：無料

* 植物観察会(06年度第2回)春日地区

第1回目は10月5日千里北公園で行いました。雨の中で参加者4名があり、お目当てのツリガネニンジン・ワレモコウ、そして散ってはいたがキキョウなど、100種近い秋の野草を観察しました。

次回は春の野草、晩秋～初冬には野草の世界が春となるので、吹田市で最も野草の多い地区の一つ、春日地区の田んぼ周辺で、春の野草観察会を行います。



- ・日時：06年12月10日(日)9:00～12:00
- ・場所：桃山台駅→春日
- ・集合：北急桃山台駅西側バス乗場午前9時
- ・服装：ハイキングと同じ
- ・持ち物：筆記用具、ビニール袋、弁当自由
あれば野草図鑑
- ・参加費：300円

大木予備調査・植物観察会に参加を希望される方は下記に連絡下さい。尚、雨天の場合は中止です。

平 軍二 TEL06-6877-0648、または
Eメール g-hira@nifty.com

冬の省エネルギー
どうしますか？

気がつけば、秋...そして、冬。
環境省は 2005 年度の温室効果ガスの排出量が前年比 0.6%増と発表しました。京都議定書の目標達成はますます難しくそう。

だからといって、止めるわけにいかない...冬の省エネルギー、あなたはどうしますか。省エネといっても、暖かくすごしたい。簡単にささやかに（お金をかけずに）。私はこれで冬を乗り切るつもりです。

寒いなと思ったら、着ることが一番かんたん。古かろうが大昔ファッションだろうが、暖かければいいじゃない、というわけで、父の形見、ラクダのカーディガンを着る。大きめだし薄くなっているけれどかえって肩が凝らずにいいのです。「おと～さ～ん！」

しかし、ま、なんといっても、一家だんらん。仲良しが一番温かいはず、というわけで鍋でも囲もうか...鍋料理は料理も温かいが身も心も、部屋も暖めてくれる～！

そういえば保温調理という手もあった...汁物、カレー、シチュー、煮物、おでんなどに最適。すべての材料と調味料を入れ、沸騰したら新聞紙や布でくるむだけ。1時間ほどできあがり。

ところで、保温性の高い土鍋を使えばもっとお手軽。毎日の味噌汁にも使ってみました。土鍋に煮干と水を入れておき、具の野菜やら豆腐やらを準備しながら火をつける（火の通りにくい根菜はここで入れておく）。湯が沸いた頃にはダシが出ているので具を入れ再沸騰したら火を止め、味噌を溶き入れてふた。余熱が料理を完成させてくれます。そのまま食卓に出しちゃっても土鍋だから(?) OK! 味噌汁でも食卓ほかほかです。

ソーラークッカー 実験してみました

「おひさま広場」のソーラーグッズの一つ、太陽光で調理ができるソーラークッカーの実験をしました。

快晴の 10 月 9 日、民家の駐車場で中 8 個のじゃがいもを茹でてみたら、約 1 時間 30 分でホクホクに。湯の温度は 92℃になっていました。

このソーラークッカーは、8 月 26 日開催の「打ち水フォーラム」でも活躍。今後は 11 月 3 日北千里DIOS 秋祭りにも出演する予定です。おひさま料理召し上がれ!!

鍋底に太陽光が集まっています



直径 80 cm のアルミニウム製パラボラ型。



92℃
保温調理と併用したらもっと活用できそう。

同封しています。

吹田市版 環境家計簿
「暮らしのCO₂ダイエット」

ニュースレターができました。

関大の社会学部のゼミ生が作ってくれました。今号は、企業への取材、行政担当者へのインタビュー、エコライフや環境家計簿体験者の話など、若者の目線でとらえた記事が一杯です。ぜひ読んでみてください。

このニュースレターは年 4 回発行の予定で、CO₂ダイエット参加者への配布とともに啓発用に活用されます。

(CO₂ダイエット参加者の方にはダブって受け取られた方もおいでかと存じますが、啓発活動にご活用くださるようお願いいたします)

家電の買い替え時には
省エネラベルを目印に!

統一省エネラベル表示

家電製品の省エネは、買い替えの時に省エネ製品を選ぶことが一番簡単かも。その目安となるのが省エネラベル。10 月からこんな★のついた統一省エネラベルがテレビ・冷蔵庫・エアコンの店頭表示に導入促進されます。★が 5 つついていたら、その時点での省エネ性能が抜群の製品だということです。



今年も不順な夏でした。梅雨の頃は夏がこないままに秋になるのではと思ってしまったほど...
地球温暖化の影響は確実にあらわれているように思えてなりません。



さて、
ジャスコチアーズクラブとの
夏恒例のエコ体験がありました。
今年は生活環境委員会と共に
エコクッキングとエコクラフト
をしました。

☆エコクッキング (参加者 16人)

- ・ガス使用料の節約
- ・水を節約、水質をきれいに
- ・ごみの減量
- ・素材選びも考えます。

野菜と肉を炒めて⇒水を入れ沸騰したら⇒カレールウを入れ
⇒火を止めて⇒鍋を新聞とバスタオルで包みます

40~50分後には食べられます。

この日のメニューはカレーとプリンとバナナ。
プリンには牛乳と卵と砂糖だけのシンプルな材料です。

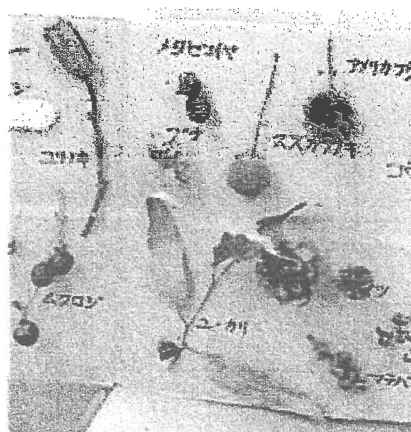
水の使い方もちょっとした注意で随分違うものです。
水量を鉛筆の太さくらいに調節すると → 50cc
同じ3秒でも…蛇口をいっぱい開けると → 3000cc
実際に時間を計って比べると大人もびっくり！

水道水を作るのにも電気が使われています。

☆エコクラフト (参加者 17人)

クズの蔦、マツボックリ、ヤシャブシ、ブナ、ユリノキなど
など、ちょっと自然に目を向けると私たちの周りにはまだまだいろいろな植物があります。
たとえば千里緑地の周り...6月にはコバンソウ、ヒメコバンソウのかわいい実が風にゆれています。
そんな素材をたくさん集めて、クラフトにしました。

リースやブーケ、壁掛けなど、創造性豊かにいろいろな作品ができました。
「これは何ていうもの？」とスタッフに名前を聞いている子が目立ちました。
これから外で遊んでいても木や草に興味や近親感を持って接してくれることでしょう。
夏休みの工作の宿題にもなったかな。楽しい一日でした。



化学者による失敗しない黒豆づくり（加藤講座）

お正月用の黒豆づくりを家庭で挑戦する人も多いですが、これがなかなかうまく料理できません。当会の顧問である加藤さんは、大阪大学で長い間、学生に化学を教えて来られましたが、大きなテーマは「身近な現象を化学的にとらえる」でした。今回の「黒豆づくり」のコツ伝授も、長年研究してきた、絶対失敗しない黒豆づくりを、化学的に説明し、料理に役立ててもらふことを目的にしています。加藤先生は、NHKの「今日の料理・正月号」を20年分を今も持っておられ、化学者の目で、料理をつくり見ておられます。加藤さんがつくった「黒豆」も試食してもらいます。今年の正月こそは、この加藤講座に参加して、完全な黒豆づくりに挑戦してみてください。

【日時】 12月10日（日）14:00～16:30

【場所】 吹田市民会館・第5会議室

【講師】 加藤 俊二（大阪大学名誉教授・当会顧問）

著書：「身の回りを化学の目で見れば」・「物質の理解 日常生活と化学」

「日々に出会う化学のことば」（発行は、いずれも「化学同人」）

【内容】 正月用の黒豆づくりを化学者の目で、実践的に研究したものを伝授します。また、日常の家庭料理も化学的にとらえるとこんなに楽しく理解ができます。実際の料理はしませんが、コツだけは持って帰ってください。

【参加費】 300円

吹田くわい、知る・掘る・食べる 連続講座

吹田市の伝統野菜である「吹田くわい」を知る講座を、環境4団体が共催して実施します。栽培農家で実際に「吹田くわい」を掘ったり、千里金蘭大学の協力でおいしく料理して食べる企画をしました。定員が30名しかありませんので、申込みは早めにされることをおすすめします。詳しくは、同封の黄色のチラシをご覧ください。

(1) 吹田くわいとは ー保存の歴史と植物の特徴ー

11月25日（土）13:30～15:30 吹田市民会館

(2) 吹田くわい掘りを体験しよう

12月17日（日）13:30～15:30 栽培畑（江坂町3丁目）

(3) 吹田くわいを料理して食べよう

1月28日（日）13:30～15:30 千里金蘭大学

<講座参加費> 1回目400円、2回目400円、3回目材料費実費800円程度

<申込先> 「事務局・中村」宛に連絡してください。

Eメール： k-kaigi@hotmail.co.jp 電話：090-8375-0647(中村)

<申込み期間> 2006年 11月 6日（月）から先着順

楽しい秋を見つけよう



千里南公園で

津雲台 彦坂利久

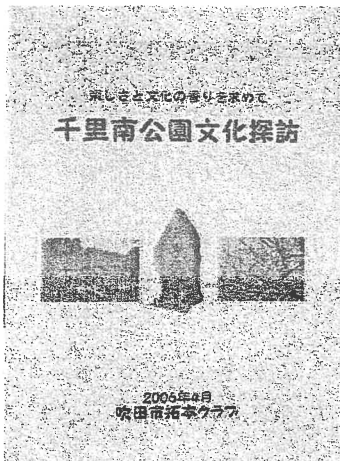
秋、今まっ盛り****公園では、子ども連れが弁当をひろげて、なにやら楽しげな笑い声が。こちらの方では、落ち着いた年配のご夫婦が、コスモスに話し掛けています。池の水面からは、夏のだるさが消え、まだ冬の厳しさが無く、なんともどかで、しみじみとした秋の陽が傾いて木立の陰を深めていきます。

千里南公園入口に立つ石には

「石ふみは 鏡ならねど ことの葉に 向えぼうつる ありし世の影」***榎原元市長の歌です。
(作品群の配列図 I)

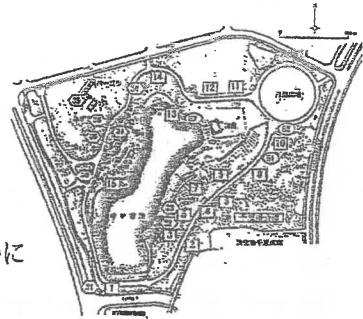
石ふみが伝えるありし世の影を仲間達と共に追ひ、「千里南公園文化探訪」なる小冊子 (A4版 28頁) を刊行し、この公園散策の友にと思い紹介します。

千里南公園を紹介する冊子「千里南公園文化探訪」



千里南公園の文化の香りを楽しもうという「千里南公園文化探訪」を企画して、ご案内用に同名の冊子をつくりました。

この公園には、文学碑(詩歌碑)が15基と千里野外彫刻展(S42開催)の作品など、千里ニュータウン40年の歩みと共に時を刻んだ文化が満ちています。



作品群の配置図

今回の冊子は、これらの一つひとつに紹介記事と配置図をつけました。

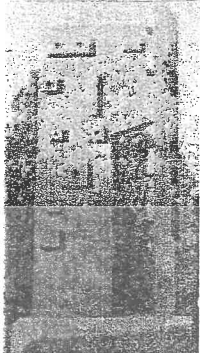


わだつみ おき た
和田津海の 沖に火もゆる 火の国に われあり 誰ぞや おもはれ人は 白蓮 (眞筆)

(白蓮の歌碑の例を挙げました)

私は筑紫の国に悲しく住んでいるが、その私に思われて真実の愛を受ける人はどれであろうか

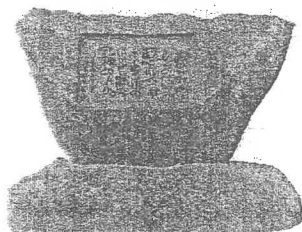
白蓮は明治十八年(1885) 柳原前光の娘として生まれました。



左は、昭和45年(1970年)に千里ニュータウン完成記念でつくられた作品の一つで、「日と風と雨に」で、高さが5mの大作です。



左は、昭和42年(1957年)に千里NTに文化の香りをとの意味をこめて開催された「千里野外彫刻展」出品の一つ「コスチューム」です。

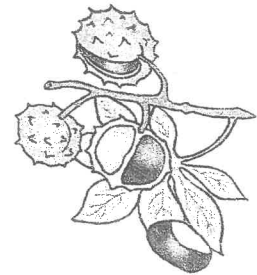


すいたくわい園の横にある萬葉歌碑

「あల్ク吹田」散策会 第27回 南千里コース

千里南公園から高町池、千里緑地、千里ぎんなん通り、佐竹公園と美しい自然と紅葉を愉しみながら高野台、佐竹台を周遊します。

日 時：平成18年11月11日（土）小雨決行
集 合：9時30分 阪急南千里駅改札前
解 散：正午頃 佐竹公園
参加費：会員400円、非会員500円
申 込：11月9日（木）までに
大越へ（TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697）



「あల్ク吹田」散策会番外編 江坂の彫刻探訪

岡本太郎の陶壁画「みつめあう愛」 門脇おさむの「石の風車」
近・現代の彫刻美術館「スキュルチュール江坂」など見学

日 時：平成18年12月9日（土）雨天決行
集 合：9時30分 ダスキン本社ビル2階自由空間 岡本太郎陶壁画前
（北大阪急行江坂駅北徒歩3分 新御堂筋西側）
解 散：正午頃 アメニテイ江坂テニスセンター前 送迎バス停
共 催：まちづくり市民塾・現代美術を愉しもう塾
参加費：会員500円、非会員600円（美術館入場料含む）定員30名
申 込：12月7日（木）までに松岡へ（TEL & FAX 06-6384-8168）

みつめあう愛



石の風車

